

千話万来

2026 年 1 月 冬号

— 2026 年、企業が取り組むべき最優先課題 —

新しい一年が始まりました。

年初になると、「今年は売上を伸ばそう」「新しい設備を導入しよう」「新規のお客様を増やそう」など、それぞれの目標を立てる企業が多いと思います。

もちろん、どれも大切なことです。

しかし、私が多くの企業を訪問する中で強く感じるのは、企業の成長や発展を左右する最も大きな要因は、「人」であるということです。

どれほど優れた設備やシステムがあっても、それを活かすのは人です。どれほど立派な経営計画を作っても、実行するのは人です。

だからこそ、これからの時代は「人への投資」が企業の未来を決めると言っても過言ではありません。

— 人手不足の時代だからこそ、今いる人を育てる —

「募集をしても応募が来ない」

「採用してもすぐに辞めてしまう」

このような相談を受けることが年々増えています。

採用だけで解決する時代ではありません。

採用した人が安心して働き続けられる職場であること。

管理職が部下を育てられること。

一人ひとりが成長を実感できる仕組みがあること。

こうした積み重ねが、人材の定着につながります。

「人が辞めない会社」は、特別な会社ではありません。

社員を大切にし、育てる仕組みを作り続けている会社なのです。

— 管理職の役割が企業の未来を変える —

経営者だけが頑張っても、会社は変わりません。

現場で日々社員と関わる管理職が、どのように部下と接し、育成し、目標へ導いていくか。

ここが企業力を左右します。近年の管理職には、

・業務管理 ・評価 ・コミュニケーション ・問題解決など、多くの役割が求められています。

「管理職になったから自然にできる」というものではありません。
管理職も学び、成長し続けることが必要です。

① 部下一人ひとりと向き合う時間をつくる

忙しい時ほど、部下との会話が減ってしまいます。
一日数分でも構いません。

「最近どう？」

その一言から信頼関係が生まれます。

② 部下の成長を見つける

出来ていないことよりも、出来るようになったことを見つける。
その積み重ねが、自信と意欲につながります。

③ 自部署の一年後を考える

毎日の仕事に追われていると、目の前の問題ばかりに目が向いてしまいます。
「一年後、もっと良い職場にするために何を始めるべきか」
管理職には、この視点が欠かせません。

— こんなお悩みはありませんか？ —

- ✓ 管理職が育たない
- ✓ 若手社員が定着しない
- ✓ 評価制度が形だけになっている
- ✓ 人事制度を見直したい
- ✓ 組織全体をもっと良くしたい

一つでも当てはまるようでしたら、ぜひ一度ご相談ください。

企業ごとの状況や課題に合わせて、管理職研修、人事制度・評価制度の構築、組織づくりなど、現場に合わせたご提案をさせていただきます。

— 現場で感じたこと —

最近、さまざまな企業を訪問して感じるのは、「人が育つ会社」と「人が育たない会社」の違いは、制度の違いではなく、日々の管理職の関わり方にあるということです。忙しいからこそ部下との対話を大切にしている会社では、少しずつですが確実に組織が変わっていきます。新しい一年が、皆様にとって「人が育つ一年」となることを願っています。

株式会社シイビイシー 小玉亜衣 人事教育コンサルタント・産業カウンセラー・生産性賃金管理士
TEL 027-266-6855 FAX 027-266-6856 E-mail kodama@linxcbc.co.jp
〒379-2121 群馬県前橋市小屋原町1082-3